

シラバス

教 科	科 目	単 位 数	学 年	コ ー ス	組
公 民	倫 理	4	3	文系NP	9

教科書	高等学校 倫理（第一学習社）	副教材	テオリア 最新倫理資料集（第一学習社）
			政治・経済資料（東京法令出版）

科目の目標	人間としての在り方生き方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決に向けて構想したりする活動を通して、人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念に基づいて、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
-------	--

科目の概要	現代の倫理，社会，文化などに関わる諸課題を追究したり解決に向けて構想したりする活動を通して，人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念に基づき，グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者として，現代の課題を倫理的観点から深く考察する。
-------	---

観点別評価			
3 観 点	○「知識・技能」	○「思考力・判断力・表現力」	○「主体的に学びに向かう態度」
10 の 力	①「知力・学力」	②「課題対応力」 ③「論理的思考力」 ④「原因分析力」 ⑤「傾聴力」 ⑥「受信・発信力」 ⑦「協働力」	⑧「行動力」 ⑨「自己管理能力」 ⑩「自己実現力」
観 点 の 評 価	選択・判断の手掛かりとなる概念や理論，及び倫理，政治，経済などに関わる現代の諸課題について理解しているとともに，諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に活用している。	現代の諸課題について，事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，解決に向けて公正に判断したり，合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論している。	国家及び社会の形成者として，よりよい社会の実現を視野に，現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。
評 価 の 方 法	・定期試験	・レポート課題など文章化した成果物やプレゼンテーション ・課題を見つけ，解決する過程での議論の様子	・授業中の活動 ・課題への取り組み方 ・自主的な学習や活動

学 習 計 画		
学期	学 習 内 容 (単 元)	単 元 別 学 習 目 標
1 学 期	第1編 現代に生きる自己の課題と人間としてのあり方生き方 第1章 人間の心と自己形成 1 青年期の課題と自己形成 第2章 人間の存在や価値と宗教 1 ギリシアの思想 2 ユダヤ教とキリスト教 3 イスラーム 4 仏教 5 中国の思想 6 宗教や芸術 【1学期 中間試験】 5月19日～22日	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の生きている青年期はどのような位置にあり、どのような発達課題があるのかを考察する。 ・人間の特質とは何かを理解する。 ・古代ギリシアに見られる考え方が、理性的な人間観に支えられていることを理解している。 ・キリスト教・イスラーム・仏教・儒教をもとに、様々な人間の見方について、自己との関わりにおいて検討する。
	第3章 人間のあり方と社会 1 人間の尊厳 2 科学革命の時代と自然観 3 自由で平等な社会の実現 4 人間性の回復と主体性の確立 第4章 現代の人間と社会をとらえる思想 1 現代の思想と人間像 2 生命への畏敬と社会参加 第5章 国際社会に生きる日本人としての自覚 1 日本固有の思想 2 外来思想の受容 3 町人思想のめざめと庶民思想 4 西洋思想との出会い 【1学期 期末試験】 7月1日～7日	<ul style="list-style-type: none"> ・人間の尊厳に関する思想について、代表的な先哲の思想を通して考察する。 ・現象学、言語哲学、構造主義などについて、代表的な先哲の思想を通して理解する。 ・社会参加と奉仕の意義を理解し、社会参加の中にも生きがいがあることを理解する。 ・日本人の人間観、自然観、宗教観などと古来の日本人の心情と考え方との関係を理解する。 ・日本人の人間観、自然観、宗教観などと、外来思想の受容との関係を理解する。
2 学 期	第2編 現代の諸課題と倫理 第1章 自然や科学技術にかかわる諸課題と倫理 1 生命の問題と倫理課題 2 地球環境の問題と倫理的課題 3 科学技術の進展と倫理的課題 【2学期 中間試験】 10月14日～17日	<ul style="list-style-type: none"> ・生命との関わりにおいて、他者と対話しながら、現代の諸課題を探究する。 ・人間の生命は自然の生態系の中で植物や他の動物との相互依存関係において維持され、共存関係が大切であることについて思索する。 ・科学技術の進展を踏まえ、AIをはじめとした先端科学技術の利用と人間生活と社会のあり方について思索する。
	第2章 社会と文化にかかわる諸課題と倫理 1 福祉の向上と倫理的課題 2 文化と宗教の影響と倫理的課題 3 国際平和と倫理的課題 1. 持続可能な社会の形成 2. 世界のなかの日本人としての生き方 【2学期 期末試験】 12月1日～5日	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア体験など福祉に関わる多様な体験をもとに、思索を深める。 ・文化や宗教をめぐって問題となっている事例を収集し、主体的に解決する。 ・平和について、人類全体の福祉の向上といった視点からも考察、構想する。 ・探究した結果を「問題点を話し合う」などの方法で適切に表現している。 ・文化や宗教をめぐって問題となっている事例を収集し、主体的に解決する。
3 学 期	特別編成授業 生徒の進路および希望に合わせて受験講座と教養講座を設置する。	受験講座：大学入試問題に対応できる力を身につける。 教養講座：各自の興味・関心に合わせて、さまざまな分野の学習体験を通じて教養を深める。